

大会名称: 第61回国民体育大会(のじぎく兵庫国体)

バスケットボール競技

開催場所: 兵庫県立文化体育館 Kコート

試合区分: No. 404 少年女子 1回戦

期 日: 2006(H18)年10月1日(日)

主審: 青木 俊也

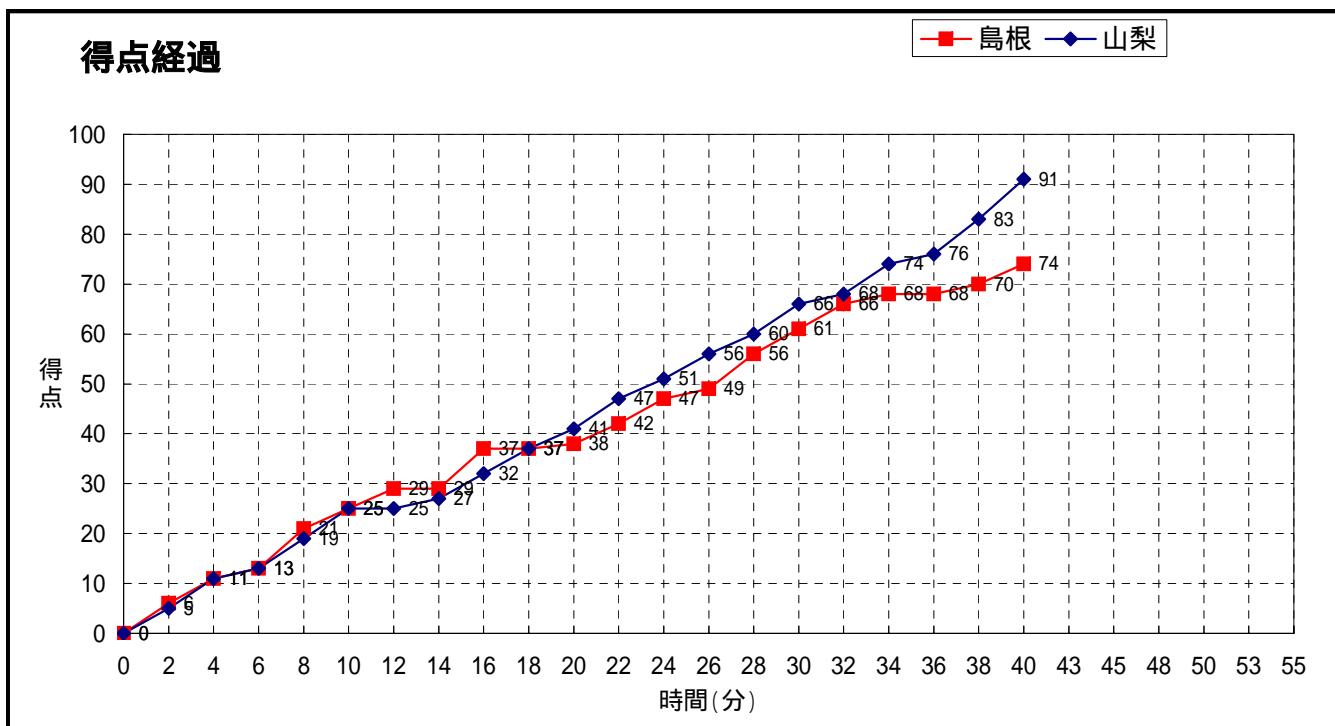
開始時間: 10:00

副審: 柳生 志乃

終了時間: 11:27

山梨 (関東)						91						74						島根 (中国)																		
		25 -st1-	25						16 -2nd-	13						25 -3rd-	23						25 -4th-	13						-OT1-			-OT2-			-OT3-
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F					
4	*	三浦 実夏	25	0	11	3	0	4	*	下邊 美穂	12	4	0	0	0	5	*	形部 由希子	18	0	7	4	0	6		永見 英利香	0	0	0	0	0					
5	*	大森 由佳	14	0	7	0	0	5	*	形部 由希子	18	0	7	4	0	6		永見 英利香	0	0	0	0	0	7	*	秦 あかね	10	0	4	2	0					
6	*	松下 文香	7	0	3	1	0	6		永見 英利香	0	0	0	0	0	8	*	青砥 諒子	19	1	7	2	0	9		井原 麻友佳	0	0	0	0	0					
7	*	名取 結衣	6	0	3	0	0	7	*	秦 あかね	10	0	4	2	0	10		有馬 純子	2	0	0	2	0	10		有馬 純子	2	0	0	2	0					
8	*	佐藤 梓	18	2	5	2	0	8	*	青砥 諒子	19	1	7	2	0	11		大塚 美里	2	0	0	2	0	11		大塚 美里	2	0	0	2	0					
9		山本 美佐子	2	0	1	0	0	9		井原 麻友佳	0	0	0	0	0	12	*	神田 菜由子	11	1	4	0	0	12	*	神田 菜由子	11	1	4	0	0					
10		吉田 愛美	0	0	0	0	0	10		有馬 純子	2	0	0	2	0	13		谷口 祥子	-	-	-	-	-	13		谷口 祥子	-	-	-	-	-					
11		渡辺 智美	2	0	1	0	0	11		大塚 美里	2	0	0	2	0	14		前田 千春	0	0	0	0	0	14		前田 千春	0	0	0	0	0					
12		藤江 安衣	7	0	2	3	0	12	*	神田 菜由子	11	1	4	0	0	15		吉田 望	4	0	1	2	0	15		吉田 望	4	0	1	2	0					
13		萱沼 美穂	0	0	0	0	0	13		谷口 祥子	-	-	-	-	-	コーチ	金子 義人						コーチ	玉井 良典												
14		池谷 早也香	10	0	3	4	0	14		前田 千春	0	0	0	0	0	合計	91	2	36	13	0	合計	78	6	23	14	0									
15		大柴 早貴	-	-	-	-	-	15		吉田 望	4	0	1	2	0																					
合計		合計	91	2	36	13	0	合計	78	6	23	14	0																							

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル



ゲームレポート

第1ピリオド、両チームともにマンツーマンディフェンスで試合が始まった。開始早々島根が立て続けにゴールを決めるも、山梨は#8佐藤の3Pシュートなどで粘り、一進一退の攻防。#4下邊を中心にしたミドル・外角シュートの島根と、スピードに勝る速攻とカットイン主体の山梨。島根#4下邊の3Pシュートが立て続けに決まるなどするが、リズムに乗り切れず、同点で第1ピリオド終了。第2ピリオド、前半、島根#5形部がインサイドで頑張り始め、ファウルを誘う有利な展開。しかし後半島根は、山梨#6松下を中心にした速攻のスピードについていけずファウルを重ね、ゲームの主導権は山梨へ。残り4分からは両チームともチームファウルが5つを越えた。山梨は、フリースローによる得点と、#4三浦のドライブからのシュートなどで残り1分に逆転し、山梨41-島根38で前半終了。

第3ピリオド、出だしから山梨のスピードが生き、連続得点で51-42と点差が開くと島根タイムアウト。その後島根は、#5形部のポストプレイを有効に機能させて粘りを見せるも山梨は、#8佐藤の3Pシュートで逃げ、66-61で第3ピリオドを終えた。

第4ピリオドは山梨のパス回しにミスが生じ始め島根は、#5形部の頑張りで早々に2点差まで追いついた。そこからしばらくは一進一退。残り6分島根は相手ミスから速攻のチャンスをもたらしたが、足が止まってしまい、逆に山梨は全くスピードを緩めることなく完全にリズムを掴んだ。残り4分、2分と島根がタイムアウトで檄をとばすが、山梨は速攻や#14池谷の球際に強いプレイで着実に点差を開き、タイムアップを迎えた。

担当者: 阿部 俊(兵庫県バスケットボール協会)

(財)日本体育協会・(財)日本バスケットボール協会